

広島県立歴史博物館

よみがえる草戸千軒町遺跡にスポットをあてて・・・

「ワークシート形式での中学生・高校生向けの学習資料作成」

【中学生・高校生向けの学習資料作成】

広島県立歴史博物館では、中学生・高校生向けの「博物館探検ノート」を作成している。この「博物館探検ノート」は博物館見学をより有効なものとするため、中学生・高校生向けに展示内容をより深く理解することができるように作成されている。中学生・高校生が地域の宝である「草戸千軒町遺跡」を中心として、瀬戸内の歴史・文化の理解を深める

ための学習資料として提供されている。平成13年度に作成された資料であり、第Ⅰ章で、瀬戸内海の歴史を概観し、第Ⅱ章、第Ⅲ章で「草戸千軒町遺跡」の理解

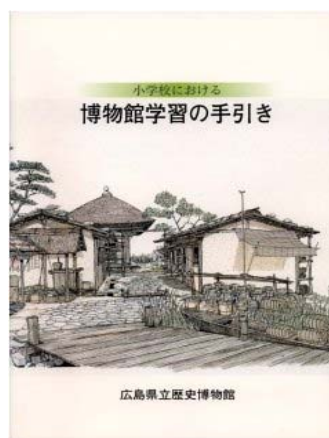


をワークシート形式で図る構成となっている。また、「博物館の役割」についても掲載しており中学生・高校生が博物館の役割の認識を深められる配慮がされている。

【学校との連携事業の実際】

① 「小学校における博物館学習の手引き」等の作成

学校教育の中で積極的に博物館を活用できるように、「小学校における博物館学習の手引き」（平成8年度から作成）「はくぶつかんたんけんノート（草戸編）」（平成8年度から提供）「はくぶつかんたんけんノート（通史編）」（平成15年度から提供）を作成している。「小学校における博物館学習の手引き」は、小学校の先生方



が博物館を授業の中で活用するための資料である。「広島県立歴史博物館の概要」「学習の手引き活用と博物館の利用」「草戸千軒町遺跡の解説」「第6学年社会科学習の

展開案」と参考資料で構成されており、具体的な事例が、関連する資料とともに紹介され、学習プログラムも示されている。

② 「博物館たんけん」

小学生・中学生・高校生共通コースでのガイダンスや常設展示見学（90分）。これにバックヤード見学を含めた120分のコースも用意されている。

また、博物館見学と近辺の製鉄所やリサイクル工場の見学を組み合わせた4時間の特別コースも用意されている。

③ 「ゲストティーチャー」

学芸員による出前講座である。教科や総合的学習の時間で歴史・文化にかかわる学習を行う場合の学校支援活動であり、学校での授業や体験学習を実施している。

④ 「体験教室」

火おこし・い草織り・ミニ畳作りなどの子どもたちの学習機会を提供している。

⑤ 「教職員支援の取組」

教職員対象に「先生のための博物館活用講座」を実施しており、学校が博物館を効果的に活用するためのノウハウを提供している。

【成果と課題】

○地域の代表的な文化財である「草戸千軒町遺跡」に関する学習教材やプログラムを整備し、利用者の理解を深めることができた。

○学校との連携における高校生の学習支援をすすめるための工夫として、「高校生ミュージアムスタッフ」を募集し、地域の高校生がボランティア活動を体験し、博物館活動に理解を深める機会を提供することを試みた。

○現在、小中高生の利用は無料化して利用促進を図っている。

○博物館の利用については、学校において来館するための経費や時間の不足により活用が難しくなっていることが課題である。博物館プログラムの意義の理解を図ること、ゲストティーチャー等学校が活用しやすいシステムの整備などが必要である。

《施設データ》

館 名 : 広島県立歴史博物館

所在地 : 〒720-0067

広島県福山市西町2-4-1

電 話 : (084) 931-2513

FAX : (084) 931-2514

設置年 : 平成元年

設置主体 : 広島県教育委員会

ホームページ : <http://www.manabi.pref.hiroshima.jp/rekishih/>

入館者数: 平成20年度 約5万人

